

平和教育アーカイブスDVD一覧

No. 1

	講 師	性別	講話の概要	収録場所	収録日	収録時間
No.1	梶矢 文昭	男	当時6歳。荒神町国民学校にて直接被爆。絵を使って、倒壊した建物から抜け出した当時の状況や心情を語る。	広島市立 安幼稚園	H20. 11. 21	4 4 分
No.2	河合 藤子	男	当時19歳。原子爆弾投下後、救護活動のために大野町から入市。絵を交えて当時の様子を語る。	広島市立 緑井幼稚園	H20. 11. 21	3 2 分
No.3	原 廣司	男	当時13歳。8月6日は江田島に滞在。これまで自身が描いた絵を提示しながら、体験や思いを語る。	広島市立 矢野幼稚園	H21. 12. 4	2 6 分
No.4	岡野 秀夫	男	当時10歳。白島国民学校にて被爆。被爆時の体験や、広島市の街の様子を絵や写真を交えて語る。	広島市立 基町幼稚園	H21. 12. 4	3 5 分
No.5	杉山 武郎	男	当時14歳。8月6日は中筋の自宅に滞在。妹をさがしに市の中心部に出たときの様子を、家族や同級生の写真を交えて語る。	広島市立 中筋幼稚園	H22. 11. 19	3 8 分
No.6	沼田 鈴子	女	当時22歳。勤務先の広島通信局にて被爆。生き残ったアオギリに励まされた心情を語る。	広島市立 矢賀幼稚園	H22. 11. 19	3 5 分
No.7	田中 譲二 (馬木公民館ゆずりは会)	男	当時11歳。8月6日は福木村に滞在。負傷した人々が村に帰ってくる話のほか、戦時中の学童疎開の状況について紙芝居で伝える。	広島市立 福木幼稚園	H23. 11. 17	4 1 分
No.8	西名 洋子	女	当時11歳。8月6日は川内村に滞在。被爆した兄の様子や被災者を介助した時の話の他、戦時中の子どもたちの様子について語る。	広島市立 川内幼稚園	H23. 11. 17	5 5 分
No.9	西本 勉	男	当時9歳。8月6日は横川の自宅に滞在。被爆後に見つけたハーモニカを今でも大切に保管し、そのハーモニカで演奏を交えて語る。	広島市立 安西幼稚園	H24. 10. 11	3 8 分
No.10	宇佐美 節子	女	当時4歳。8月6日は祇園の自宅に滞在。被爆当時の様子を紙芝居や防空ずきんなどを用い、被爆した市内の様子について語る。	広島市立 安東幼稚園	H24. 10. 11	3 1 分
No.11	川本 睦郎	男	当時2歳。ピースボランティアとして活動している内容を、小学生へ分かりやすいように絵や写真を使って説明する。	広島市立 千田小学校	H26. 1. 22	5 5 分
No.12	岩田 美穂	女	被爆2世。当時16歳、西観音町で被爆した母（「いわたくんちのおばあちゃん」のモデル）の被爆体験を語る。	広島市立 本川小学校	H26. 2. 7	3 7 分
No.13	佐藤 廣枝	女	当時7歳。8月8日に入市し被爆。戦時中の生活の様子疎開先での体験をパワーポイントを使って説明する。	広島市立 口田小学校	H26. 12. 18	3 0 分
No.14	笠岡 貞江	女	当時高等女学校1年。8月6日は中区江波の自宅で被爆。絵や写真を使い、自身の被爆体験を語る。	広島市立 八幡東小学校	H27. 2. 18	6 8 分

平和教育アーカイブスDVD一覧

No. 2

	講 師	性別	講話の概要	収録場所	収録日	収録時間
No.15	長尾 ナツミ	女	当時高等女学校2年(14歳)の時、爆心地から1.4km離れた校庭で被爆。小学生に分かりやすく具体物等を準備し、被爆体験について語る。	広島市立 藤の木小学校	H27.6.10	5 1分
No.16	眞木 淳治	男	当時14歳の時、爆心地から約2km離れた舟入川口町の工場で被爆。学徒動員の様子や被爆体験について語る。	広島市立 五日市南小学校	H27.6.15	5 9分
No.17	松本 都美子	女	当時13歳、爆心地から1.4km離れた校庭で被爆。比治山までの避難の様子や自身の被爆体験、戦後の暮らしについて語る。	広島市立 己斐上中学校	H28.8.5	4 3分
No.18	田邊 雅章	男	当時7歳、原爆投下2日後、疎開先から家族の安否確認のため祖母と広島に入る。原爆投下直後の広島の街の被害の様子や被爆した人々の様子について語る。	広島市立 井口中学校	H28.11.8	5 2分
No.19	美甘 進示	男	当時19歳、建物疎開命令に従い、爆心地から1.2km離れた自宅の屋根で作業中に被爆。「8時15分ーヒロシマを生きぬいて許す心ー」の著者である娘の美甘章子さんと被爆体験について語る。	広島市立 己斐東小学校	H29.6.6	5 1分
No.20	鳥越 不二夫	男	当時14歳、爆心地から2.3km離れた自宅前の畑で被爆。原爆が投下される瞬間の様子から、自身の被爆の様子などについて語る。	広島市立 城南中学校	H29.7.6	5 1分
No.21	北川 建次	男	当時10歳、爆心地から1.2km離れた竹屋小学校の教室で被爆。戦争に向かう日本の様子や被爆当時の広島の様子などについて語る。	広島市立 庚午中学校	H30.6.22	6 0分
No.22	梶本 淑子	女	当時14歳、爆心地から2.3km離れた三篠の飛行機プロペラ部品工場で被爆。己斐の自宅へ避難する様子や、自身の被爆の様子などについて語る。	広島市立 草津小学校	H30.7.2	6 1分
No.23	山本 定男	男	当時14歳、爆心地から2.5km離れた東練兵場で、畑の草取り作業のため集合していたときに被爆。学徒動員の様子や被爆体験について語る。	広島市立 高須小学校	R1.7.1	6 0分
No.24	中西 巖	男	当時15歳、爆心地から2.7km離れた南区陸軍被服支廠前で、輸送作業に出発するため待機していたときに被爆。自身の被爆の様子や市内の様子について語る。	広島市立 井口明神小学校	R2.1.28	5 8分
No.25	川野 登美子	女	当時3歳、爆心地から2.3km離れた自宅で被爆。「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんは、小学校時代の同級生であり、建立に携わった。命の大切さ、戦争の悲惨さについて語る。	広島市立 幟町小学校	R2.7.3	4 2分
No.26	近藤 康子	女	当時4歳、爆心地から3.5km離れた古田町の小川で、友達と遊んでいたときに被爆。戦時中の生活や自身の被爆体験、被爆による影響について語る。	広島市立 矢野中学校	R2.11.6	4 5分
No.27	山本 玲子	女	当時7歳、爆心地から4.1km離れた長束国民学校の校庭で被爆。戦時中の生活や被爆体験、被爆後苦しむ人々について語る。	広島市立 大河小学校	R3.7.5	6 6分
No.28	飯田 國彦	男	当時3歳、爆心地から900m離れた母の実家で被爆。自身の被爆体験や被爆による影響を語り、原爆の本当の恐ろしさを伝える。	広島市立 翠町中学校	R3.11.17	6 3分

平和教育アーカイブスDVD一覧

No.3

	講師	性別	講話の概要	収録場所	収録日	収録時間
No.29	若山 登美子	女	当時6歳、原爆投下から3日後、父を探しに家族と一緒に広島市内へ入る。被爆直後の市内の様子やその後の生活の様子について語る。	平和記念資料館 (広島市立宇品中学校)	R4.11.11	39分
No.30	清水 弘士	男	当時3歳、爆心地から1.6km離れた自宅で、母と遊んでいた庭から家の中に入ったときに被爆。自身の被爆体験や原爆後遺症について語る。	広島市立 天満小学校	R4.12.9	49分